



## 「ありがとう」のひと言

園長 池田 克子

少しずつ日差しが明るくなってきました。木々の芽も膨らみ、子どもたちが植えたチューリップやスイセンの芽もぐんぐん伸びて、それを見付けた子どもたちの目も輝いています。

2月は、雪が降り、寒い日が続くのかと思っていましたが、後半になるにつれ、晴れてぽかぽかと暖かい日も増えてきました。縄跳びやドッヂボールに挑戦し身体を動かすことを楽しむ姿や、各学年の発達に合わせた雛人形作りをする姿が見られています。子どもたち手作りのお雛様が出来上がりつつあり、子どもたちの嬉しそうな、誇らしげな顔が見られます。

先日、病院のカーテン越しに、看護師さんと患者さんとの会話が聞こえてきました。患者さんは看護師さんが来てくれるたびに「ありがとうございます」と声をかけ、感謝の気持ちを伝えていました。このほんの短い『ありがとう』の言葉が、とても温かく感じる一場面でした。たった一言の短い言葉の中に、温かさ、人の触れ合いを感じ、言葉を伝え合う人だけではなく、聞いている私まで心が温かくなりました。最近は、顔を合わせて直接言葉で伝えることより、文字でのやり取りで伝えることが多くなってきているように感じることもあります。人と人との触れ合いの中で、相手の表情を感じながら直接言葉で思いを伝えることの大切さを、改めて感じました。

幼稚園でも、人と人との触れ合いの中で様々な思いを伝えています。友達や先生との関わりが深まり、たくさんの『ありがとう』の言葉が聞こえてきます。友達や先生に何か手伝ってもらったり、助けてもらったりした時、保健室でけがの手当てをしてもらった時などにも、自然にこの言葉が聞こえてくるととても嬉しい気持ちになります。人の触れ合いの中で、相手の目を見て自分の思いを言葉で伝えることを大切にし、幼稚園にこの『ありがとう』の言葉の花がたくさん咲いてくれることを願っています。

3学期もあとわずかとなりましたが、共に子どもたちの成長を喜び合い、感謝の思いを伝え合って、充実した日々を過ごしていきたいと思います。この一年、保護者の皆様、地域の皆様には、幼稚園へのご支援、ご協力をたくさんいただきありがとうございました。そして、幼稚園を修了し、小学校へ歩み出す子どもたちを地域で支えてくださいますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。